

# スクランブル

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会  
山中小学校・大井第一小学校・伊藤学園PTA  
各学校OB&OG

編集・発行  
大井第二地区スクランブル編集委員会  
品川区大井2-27-20  
大井第二地域センター内

TEL 03(3772)2000 FAX 03(3772)2076

## 国勢調査

## って何だろう？

令和2年は5年に1度の国勢調査の年です。今回は、大正9年の第1回調査から100周年を迎えます。  
ラジオもテレビもない時代から大正昭和へ平成へ令和と続く調査は、どの様な目的で行われ、私たちの生活にどのように役立てられているのでしょうか？

### どんな調査なの？

国勢調査は日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われます。令和2年国勢調査は、大正9年に行われた我が国最初の国勢調査から数えて21回目に当たります。

### 何に役立っているの？

★多くの法令で国勢調査の結果の使用が規定されています。選挙区の画定、地方交付税の交付額の配分などにおいて、国勢調査による人口を基準としています。

★少子高齢化の将来予測、地域の人口の将来見通し、住みよい街づくりのための計画策定、防災計画の策定など、行政運営や計画策定の基礎データとして欠かせないものになっています。

★民間企業でも経営判断などに国勢調査の統計が利用されています。例えば、新しい店舗の立地を検討する場合、地域の人口規模や年齢構成などを分析して判断することで、消費者のニーズに対応した事業展開やサービスの提供が可能となります。

センサスくん  
平成2年(1990)の国勢調査の時に生まれたよ！  
「人口センサス」にちなんで名づけられたんだ。



また、大学・シンクタンク等では、調査の結果を研究に利用して、社会経済の現状を分析したり、提言を行ったりしています。

★このほか、国民経済計算の統計(GDPなどの統計)も、国勢調査の人口を基礎として用いています。また、労働力調査、家計調査などの個人や世帯を調査対象とする各種標本調査の基盤として、重要な役割をもっています。

<国勢調査結果>	第1回	第10回	第20回
	1920年	1965年	2015年
人口	0.56億人	0.99億人	1.27億人
世帯数	1122万世帯	2429万世帯	5345万世帯
1世帯当たり人員	4.89人	4.05人	2.36人

国の未来を見据えるための大切な調査なんだ



みらいちゃん  
インターネットによる調査が本格的に始まった平成27年(2015)国勢調査の時に誕生したのよ！



素朴な疑問  
コーナー



### 国勢調査のあゆみ

- 1920年(第1回) 我が国最初の国勢調査**  
「国勢調査ニ関スル法律」の制定から18年後、近代人口センサス第1号といわれるアメリカの1790年センサスから130年後のことでした。
- 1947年(第6回)**  
「再建へ漏れなく正しくありのまま」当時の標語に調査への意欲がみられました。戦後最初の調査の結果は大都市の人口の激減を鮮明に物語りました。
- 1970年(第11回) 人口一億人突破**  
高度経済成長期のまっただなかで実施され、ますます激化する人口移動の解明と、核家族化の進行に伴い、従来の直系世代的な家族分類を、核家族分析に便利な家族類型別集計に変更しました。
- 2015年(第20回)**  
「人口減少社会」のはじまり  
調査開始以来、初めて人口が減少しました。インターネット回答方式を全国で導入しました。

### 国勢調査のはじまりに尽力した人物

日本近代統計の祖  
杉 亨二・すぎこうじ  
1828(文政11年)～1917(大正6年)  
1871年(明治4年)に設置された統計局前身にあたる「政表課」の大主記だったことから、「初代・統計局長」といわれる。人口全数調査を国に要望した最初の人。



我が国初の統計機構を設置  
大隈 重信・おおくましのぶ  
1838(天保9年)～1922(大正11年)  
早稲田大学の創立者としても知られる大隈重信は1881年(明治14年)、統計院を設立、初代統計院長に就任する。統計院設置の建議書では「国勢(国の情勢)」という言葉を使い、統計の重要性を訴えた。



時の内閣総理大臣  
原 敬・はらたかし  
1856(安政3年)～1921(大正10年)  
1918年(大正7年)に総理大臣に就任し、平民宰相として人気を博す。大正9年5月に国勢院(臨時国勢調査局も管理)を設置、初の全国的な国勢調査を実施する。  
実施の翌年11月、東京駅で暴漢に襲われ、国勢調査の結果を見ることなく永眠した。



### <第1回国勢調査のポスター>

「この調べに漏れては国民の恥です」  
「正直にありのままを書いて下さい。全く書けない人は書いて上げます」  
など、今では考えられないコピーが載っていて、当時の全数調査の苦勞がうかがわれます。



大正9年調査開始当初には山奥に未開の集落を発見することもあったとか…当時の調査員の苦勞が想像できますね。私たちの現在の生活があるのも、その苦勞の積み重ねのおかげなのでですね。

【檜山】

- Q. 住基本台帳の人口と国勢調査の人口が異なっているのはなぜですか？  
A. これは、住民票の届出場所と実際に住んでいる場所が一致しない場合があるからです。また、両調査における人口の把握時期・方法が異なること、長期の海外渡航者でも住民票を残している場合があることなどによるものです。
- Q. 仕事が忙しい場合でも、国勢調査に答えなければならぬのですか？  
A. 正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、日本に住むすべての人からの漏れのない正確な回答が必要です。仕事などで忙しい場合、インターネット回答が便利です。また、調査票を郵送で提出することもできますし、都合の良い日時を調査員に知らせて調査票の回収をお願いすることも可能です。

- ① 調査書類の配布 9月14日(月)から  
調査員が訪問し、調査書類を郵便受けなどに配布。
- ② インターネット回答期間 9月14日(月)から10月7日(水)  
調査書類が届いたら、回答サイトにアクセス
- ③ 調査票での回答期間 10月1日(木)から10月7日(水)  
インターネット回答が難しい場合は、調査票を使って回答。記入した調査票は郵送で提出。  
※調査員に提出することも可能。
- ④ 調査書類の確認・集計

出典元：総務省統計局ホームページ  
(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/qa-1.html#a1>) (<https://www.kokusei2020.go.jp/about/flow.html>) ([https://www.kokusei2020.go.jp/lib/pdf/gallery/arch/ive/ayumi\\_all.pdf](https://www.kokusei2020.go.jp/lib/pdf/gallery/arch/ive/ayumi_all.pdf)) (<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/quiz/>)